

# 鶴見大学 中期目標・計画(2022年度報告)

(進捗状況：S:極めて適切に実行している、A:適切に実行している、B:概ね実行している、C:必ずしも実行していない)

## 【I. 教育】1.高大接続の円滑化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
定員管理	R4(新)各学部、学科、研究科の定員充足	入試センター事務部	各学部の入試対策委員会を通じ、定員充足に向けた審議を行う。	充足に向けた具体策を各学部の入試対策委員会にて審議し実行する。オープンキャンパスや高校訪問、高校教員へ向けたガイダンスなど本学の魅力を伝えられるような施策を検討する。	【期末報告】 ・高校訪問及び出張講義を行い本学の魅力を伝えた ・オープンキャンパス等では前年度の参加者を上回った。 1912名から2755名に増加※コロナ前の2019年度は4,288名の参加 ・志願者数は歯学部、歯科衛生科のみ昨年度を上回ったが合格者は歯科衛生科のみが昨年度を上回った。入学者は歯科衛生科のみが昨年度を上回った。	C	50%	C	前年度との比較は記されていますが、コロナ禍以前の数字とも比較し、報告してください。 ----- 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。
入試判定基準の見直しによるAPの実質化(大学教育に相応しい学生の選抜)	入試区分別の成績(GPA含む)推移・学修態度の検証	入試センター事務部	入試区分別の成績推移・学習態度の検証を行う。	各学部の入試対策委員会において入試区分別の成績推移・学習態度の検証を行い、入試日程や選考方法の策定に生かす。	【期末報告】 各学部の入試対策委員会において、前年度に入学した学生の成績推移・学習態度に鑑み、各入試区分の選考基準の検証を行った。	B	80%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	総合型選抜、学校推薦型選抜等、推薦入試の妥当性についての検証	入試センター事務部	各学部の入試対策委員会において、総合型選抜、学校推薦型選抜等、推薦入試の妥当性についての検証。	文学部、短大部、歯学部とも各入試対策委員会にて次年度の入試概要を審議する際、総合型選抜、学校推薦型選抜等、推薦入試の妥当性についての検証する。	【期末報告】 各学部の入試対策委員会にて前年度の志願状況や受験生の学力を確認し、総合型選抜、学校推薦型選抜等、推薦入試の妥当性についての検証を行った。歯学部総合型選抜においては地方志願者の門戸を開く必要があるとの意見を受け、今年度実施の入試から沖縄会場を加えたが志願者は出なかった。文学部の学校推薦型選抜(一般公募)では各学科の志願者の特性に鑑み、出願資格を拡充したが、大幅な志願者の増員にはつながらなかった。保育科では学校推薦型選抜(一般公募)の志願者が減少傾向であることから学校推薦型選抜(一般公募)を廃止し、総合型選抜の回数を増やしたが、志願者の増員にはつながらなかった。	A	80%	B	選抜・入試内容の妥当性について検証を行ったとのことですが、結果に繋がっていないため、今後は志願者が出なかった理由等の検証も行ってください。
	奨学金(入学金・授業料減免)による優秀者確保	入試センター事務部	歯学部では個別選抜型1期(新入生特待奨学生選抜試験)にて奨学生を確保する。 また、年内に合格した受験生(編入学、外国人留学生特別選抜除く)にも新入生特待奨学生選抜試験にチャレンジできるようにした。 文学部では奨学特待生選抜試験において奨学生を確保する。 短大部では新入生特待奨学生選抜試験において奨学生を確保する。 ※上記内容は各学部で審議中	歯学部では個別選抜型1期(新入生特待奨学生選抜試験)にて奨学生を確保する。 また、年内に合格した受験生(編入学、外国人留学生特別選抜除く)にも新入生特待奨学生選抜試験にチャレンジできるようにした。 文学部では奨学特待生選抜試験において奨学生を確保する。 短大部では新入生特待奨学生選抜試験において奨学生を確保する。 ※上記内容は各学部で審議中	【期末報告】 歯学部では新入生特待奨学生選抜試験(個別選抜型1期兼ねる)にて奨学生を確保するため、新入生特待奨学生制度を設置。また、年内に合格した受験生(編入学、外国人留学生特別選抜除く)にも新入生特待奨学生選抜試験にチャレンジできるようにした。(年内合格者の受験者で2名、個別選抜型の受験者で6名の合計8名が認定)文学部では奨学特待生選抜試験(ドキュメンテーション学科で1名が認定)、短大部では新入生特待奨学生選抜試験を昨年度同様に設置(保育科で10名、歯科衛生科で7名が認定)した。	B	70%	C	具体的な数値(人数等)も報告してください。 ----- 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。

【I. 教育】 1. 高大接続の円滑化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
総合型選抜、学校推薦型選抜入学決定者の勉強習慣獲得と弱点克服(入口から中身への円滑移行)	体系的な入学前準備教育プログラムの構築(e-ラーニングを活用した事前課題及びスクーリングの開講)	教務事務部	<p>[文学部]12月までの入学予定者を対象として、必修で入学前準備教育課題を実施。</p> <p>[歯学部]12月までの入学予定者を対象(任意)に東進ハイスクールナガセの入学前準備教育(DVD講座)を受益者負担で実施。また、入学前オリエンテーション時に理系一般教育科目の事前教育を検討。</p> <p>[保育科]入学予定者全員に入学前教育課題を送付。教員が添削して返却する。ピアノの入学前個人レッスンを実施。</p> <p>[歯科衛生科]入学予定者に必修課題として全員を対象に入学前教育課題を実施。有料プログラムとして入学前準備教育(DVD講座)を実施。</p>	<p>[文学部]12月までの入学予定者を対象として、必修で入学前準備教育課題を実施。</p> <p>[歯学部]12月までの入学予定者を対象(任意)に東進ハイスクールナガセの入学前準備教育(DVD講座)を受益者負担で実施。また、入学前オリエンテーション時に理系一般教育科目の事前教育を検討。</p> <p>[保育科]入学予定者全員に入学前教育課題を送付。教員が添削して返却する。ピアノの入学前個人レッスンを実施。</p> <p>[歯科衛生科]入学予定者に必修課題として全員を対象に入学前教育課題を実施。有料プログラムとして入学前準備教育(DVD講座)を実施。</p>	<p>【期末報告】</p> <p>[文学部]12月までの入学予定者全員(249名)を対象に課題を送付し、必修で入学前準備教育課題を実施した。(内訳)総合型選抜:日本文学科21名、英語英米文学科9名、文化財学科6名、ドキュメンテーション学科17名、学校推薦型選抜:日本文学科45名、英語英米文学科68名、文化財学科39名、ドキュメンテーション学科44名</p> <p>[歯学部]12月までの入学予定者を対象(任意)に、東進ハイスクールナガセの入学前準備教育(DVD講座)を受益者負担で実施。また、入学前オリエンテーション等を通じて、歯学部一般教育教員による苦手科目のサポートをmanabaを使用して実施した。</p> <p>[保育科]入学予定者全員(107名)に入学前教育課題を送付した。教員が添削して担任が返却し、以後面談を行った。ピアノの入学前個人レッスンは2回実施した。</p> <p>[歯科衛生科]入学予定者に必修課題として全員を対象に入学前教育課題を実施。有料プログラムとして入学前準備教育[DVD講座]を実施。必修課題は入学者113名が受講した。有料プログラムは、基礎計算力完成コース2名、医療系生物入門(基礎生物①)コース8名、医療学生のための国語力入門コース3名、基礎から始める国語力トレーニングコース4名、基礎から始める数学トレーニングコース4名、コミュニケーション力養成①(PaCSあり)コース3名が受講した。</p>	B	70%	B	<p>実施内容のみではなく、具体的な数値(人数等)も示してください。</p> <p>確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。</p>
本学の魅力を伝える外部アプローチ	附属高校との連携強化	入試センター事務部	<p>本学附属高校との連携(高大連携委員会)において、附属高校文化祭(光華祭)に「歯学部紹介コーナー」として、歯学部学生及び教員が参加する。</p> <p>出前講義ではないが、「文化財学科体験授業」を附属高校生を対象に本学施設にて実施する。</p>	<p>10月下旬、附属高校文化祭(光華祭)に歯学部紹介コーナーとして参加する。</p> <p>出前講義ではないが、文化財学科の体験授業を附属高校生を対象に本学施設にて実施する。</p>	<p>【期末報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設見学会(図書館、学食見学)4/14(木)124名、4/15(金)143名</li> <li>夏休み親子体験7/25(月)40名</li> <li>図書館インターンシップ7/25(月)、7/26(火)両日で2名</li> <li>附属病院中央検査室見学7/22(金)2名</li> <li>光華祭への参加(歯学部・保育科)10/28(金)、10/29(土)両科合計約100名</li> </ul> <p>文化財学科の体験授業は附属高校からの希望者がなかったため実施せず ※根拠資料あり</p>	A	70%	B	<p>実施内容のみではなく、参加人数等の結果も報告してください。</p> <p>また、年度目標、年度計画に沿った結果も報告してください。(進捗割合は100%→70%に変更しています。)</p> <p>確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。</p>
	高校訪問・予備校訪問の継続・強化	入試センター事務部	<p>歯学部、保育科は指定校を中心に高校訪問を行い、志願者拡大を目指す。</p> <p>入試センターで高校ガイダンスの際に進路指導の教員と情報交換を行う。</p>	<p>歯学部では訪問(約250校)する教員に対し事前の説明会を開き、訪問の際の共通認識を図る。学納金、奨学制度の変更手を重点的に伝える。教員は訪問後、また、編入学予備校や医療系予備校日本人学校への訪問し編入学試験、外国人留学生特別選抜の志願者拡大も図る。</p> <p>保育科では指定校を中心(26校)に教員が訪問し、志願者拡大を目指す。</p>	<p>【期末報告】歯学部では高校訪問をする教員に対し事前の説明会を開き、訪問の際の共通認識を図った。学納金・奨学制度の変更点を重点的に伝える。当初、予定していた250校の訪問を予定していたが、高校教員の都合が合わないこともあり、約200校の訪問数となった。訪問できなかった高校には後日資料を送付した。また、編入学予備校や医療系予備校日本人学校にも訪問し、編入学試験や外国人留学生特別選抜の志願者拡大も図った。</p> <p>保育科では指定校を中心に26校に教員が高校訪問した。また、歯科衛生科については教員による3校の訪問に加え、今年度より歯学部教員が訪問した際に歯科衛生科の情報も高校側へ伝えることとした。入試センターでは約100校の高校ガイダンスで高校を訪問し、教員との意見交換を行った。</p>	B	90%	C	<p>年度計画の数値に対し、期末報告で結果が伴っていないことに対して報告してください。また、歯科衛生科についても報告してください。</p> <p>確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。</p>

【I. 教育】 2.教育課程の改善(DPの質保証)

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
歯学部: 歯科医師国家試験合格率の向上を目指したカリキュラム改革	国家試験支援体制の整備(専門スタッフの配置等)	歯学部教務課	歯科医学教育学講座と他講座間との連携体制の強化を図ることにより、歯学部全体での国家試験支援体制の充実を図る。	カリキュラム方針の策定(カリキュラム委員会・歯科医学教育学講座)、教育指導(総合歯科医学VI実行委員会)、国家試験を見据えた試験問題作成(問題作成分析評価委員会)の連携強化を図る。	【期末報告】 歯科医学教育学講座、カリキュラム委員会を中心に、IR推進課とも連携を図り、シラバスと歯学教育モデルコアカリキュラムとの整合性の確認や、試験成績の分析を行うことを進めている。「問題作成、成績管理、分析評価委員会」でCBTや歯科医師国家試験の分析を行った。	B	60%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	試験回数や内容の効果検証による効率化	歯学部教務課	CBT-Medicalを使用した試験実施により、歯学教育モデルコアカリキュラム、歯科医師国家試験出題基準に合致した教育内容検証の効率化を図る。	IR推進課と連携し、試験の内容とシラバスに記載された歯学教育モデルコアカリキュラム、歯科医師国家試験出題基準とが合致しているか検証を行う。	【期末報告】 実習を除く全ての科目でCBT-Medicalを使用した試験を実施している。IR推進課とも連携を図り、シラバスと歯学教育モデルコアカリキュラムとの整合性の確認や試験成績の分析を行うことを進めている。成績を受けて授業内容に反映できるように4年生CBT対策として「総合歯科医学IV実行委員会」、6年生国家試験対策として「総合歯科医学VI実行委員会」を組織し、対策の検討を行うこととしている。各学年毎のGPA分布図の作成や、CBT-Medicalにより個々の成績結果をレーダーチャート形式で作成して、フィードバックを行い、効率化を図っている。	B	70%	B	効率化についても報告を行ってください。 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。
文学部: 学修意欲(モチベーション)を引き出す教育改革	実学志向の課題解決型アクティブラーニングの導入	文学部教務課	[文学部]科目の特性から判断して教授法としてアクティブラーニングが適切でかつ教育効果が高い科目において実施を検討する。	[文学部]科目の特性から判断して教授法としてアクティブラーニングが適切でかつ教育効果が高い科目において実施を検討する。	【期末報告】 [文学部]令和4年度開講の実務家教員が担当している科目153科目中、80科目(52.3%)でアクティブラーニングを実施した。	B	50%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	企業人(地域との連携)の演習講義の導入	文学部教務課	[文学部]文学部共通科目のキャリア形成科目において、企業人の科目担当者が授業を行う。 [キャリア]キャリア支援課として講座(ガイダンス)として実施(課外)	[文学部]文学部共通科目のキャリア形成科目において、企業人の科目担当者が授業を行う。 [キャリア]キャリア支援課として講座(ガイダンス)として実施(課外)	【期末報告】 [文学部]文学部共通科目のキャリア形成科目「キャリアスキル演習IV」において、企業人の科目担当者が授業を行った。また、第8回から第14回の授業において、7業界の企業人がゲストスピーカーとして講演を実施した。 [キャリア]企業の新卒採用担当者(4企業4名)を招き集団模擬面接を開催。参加学生:文学部3年生32名。4日間開催。1日3コマ(1コマ70分)。1日1企業が担当。	A	80%	A	学部や学年、回数等の数値も報告してください。 その内容を確認後、委員会評価を入力します。 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。
	個々の学生に合わせた多様なキャリア支援の実施	キャリア支援課	・個々の学生の希望を把握し個別支援 ・(4年)10月までに状況把握率80%	学生ごとに担当を決め、電話掛け等の連絡を定期的に行う。教員等の協力を得ながら学生状況の把握、支援を行っていく。	【期末報告】 支援を希望する学生には個別面談を行い支援を行った10月時点でのキャリアナビへの進路希望登録数と内定報告もあわせて状況把握率は93%となる。面談記録上、年間1638件の支援等を行っている。支援内容は多岐にわたり、進路・就職相談、インターンシップ、業界・企業について、面接対策、履歴書・エントリーシートの添削など、傾聴を重視し個々の悩みや相談に応じている。	S	100%	A	・年度目標の数値に対しての結果と、面談の件数や人数等の実績も報告してください。 ・「支援を希望する学生に～」とありますが、具体的な支援内容についても報告してください。 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。
	学生の社会貢献活動の正課の教育課程化	文学部教務課	[文学部]文学部将来計画委員会で検討中。	[文学部]文学部将来計画委員会で検討中。	【期末報告】 [文学部]「文学部将来計画委員会」において検討した結果、社会貢献活動の正課の教育課程化については見送ることとなった。	C	0%	C	引続き、改善・向上に努めてください。

【I. 教育】 2.教育課程の改善(DPの質保証)

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
短大部: 国家試験合格率の向上	R4(新)歯科衛生士国家試験の合格率向上	短大部教務課	[歯科衛生科] 歯科衛生士国家試験の合格率向上に向けて、国家試験対策の強化を図る。	[歯科衛生科] 1年次から国家試験対策の強化・保護者面談の早期実施・国家試験直前対策の強化。	【期末報告】 [歯科衛生科]]1年次から国家試験対策の強化・保護者面談の早期実施・国家試験直前対策の強化を図った。受験生(3年生)へは、早期から出題数の多い主要3科目の対策を実施し、さらに少人数グループでの指導を行った。定期的に全国模擬試験を行い、その結果を指導に繋げた。 ※根拠資料あり	B	70%	B	具体的な数値(結果)についても、文中もしくは根拠資料のアップロードなどで示してください。 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。
	R4(新)介護福祉士国家試験の合格率向上	短大部教務課	[保育科福祉専攻] 介護福祉士国家試験の合格率向上に向けて、国家試験対策の強化を図る。	[保育科福祉専攻] 国家試験対策強化のため、集中講義及び個別指導を行い、全員合格を目指す。	【期末報告】 [保育科福祉専攻] 介護福祉士国家試験100%合格を達成した。	B	70%	B	確認しました。
優秀な学生を伸ばす教育的戦略	優秀な学生向けの特別プログラムの導入	教務事務部	[文学部] 文学部将来計画委員会で検討中。 [歯学部] 今後検討。 [保育科] 選択科目にて、自然体験指導リーダーの資格を取得できる。 [歯科衛生科] 総合病院(新百合ヶ丘病院等)にて特別プログラムでの実習を実施。	[文学部] 文学部将来計画委員会で検討中。 [歯学部] 今後検討。 [保育科] 選択科目にて、自然体験指導リーダーの資格を取得できる。 [歯科衛生科] 総合病院(新百合ヶ丘病院等)にて特別プログラムでの実習を実施。	【期末報告】 [文学部] 「文学部将来計画委員会」において大学院の授業を履修できる早期履修制度を整備し、令和5年度より運用を開始する。SA制度を活用し実施した。履修登録の単位数の上限を増やしている。 [歯学部] 検討継続中。 [保育科] 公立保育園等の就職対策講座を設置し、さらに個別指導によって公立保育園合格者1名を輩出した。自然体験指導リーダーの資格を取得できるよう選択科目を開講した。 [歯科衛生科] 総合病院(新百合ヶ丘病院等)にて特別プログラムでの実習を実施した。	C	50%	C	保育科の年度目標・年度計画に記載のある「自然体験指導リーダーの資格を取得できる」についても追記してください。 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。
	SA(スチューデント・アシスタント)、TA(ティーチング・アシスタント)制度の導入と活用	文学部教務課	[文学部] SA、TAを採用し、文学部学生の学修支援を行う。	[文学部] 前年度と同等程度的人数(TA7名、SA21名)を採用予定。	【期末報告】 年間で、TA5名、SA19名を採用し、学生への学修支援にあたった。	A	100%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
学位の質保証 PDCAサイクルの構築	カリキュラムポリシーに基づいたカリキュラムの検証と見直し	教務事務部	[文学部] カリキュラムポリシーに基づいたカリキュラムの検証と見直しは既に実施済みである。2020年度までに対応完了。 [歯学部] 週1回定例でカリキュラム委員会を開催し検討を行う。 [保育科] カリキュラムポリシーに基づくカリキュラムの見直しを行い、2022年度学生からカリキュラムを変更するために文科省に教員の認定申請済。 [歯科衛生科] カリキュラムの検証と見直しを継続。	[文学部] カリキュラムポリシーに基づいたカリキュラムの検証と見直しは教務委員会で実施する。 [歯学部] 週1回定例でカリキュラム委員会を開催し検討を行う。 [保育科] カリキュラムポリシーに基づくカリキュラムの見直しを行い、2022年度学生からカリキュラムを変更するために文科省に教員の認定申請済。 [歯科衛生科] カリキュラムの検証と見直しを継続。	【期末報告】 [文学部] カリキュラムポリシーに基づいたカリキュラムの検証と見直しは既に実施済みである。2020年度までに対応完了している。 [歯学部] 週1回定例でカリキュラム委員会を開催し検討を行った。 [保育科] 昨年度のカリキュラムポリシーに基づくカリキュラムの変更に伴い、1年生に対し新カリキュラムを実施している。 [歯科衛生科] カリキュラムの検証を行っている。	B	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。

【I. 教育】 2.教育課程の改善(DPの質保証)

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
学位の質保証 PDCAサイクルの構築	シラバス記載内容の充実と整合性の検証	教務事務部	[文学部]教務委員会において、文学部のカリキュラム方針に基づくシラバスチェックを行う。 [歯学部]週1回定例でカリキュラム委員会を開催し検討を行っている。IR推進課とも連携を図り、シラバスと歯学教育モデルコアカリキュラムとの整合性の確認や試験成績の分析を行うことを進めている。 [保育科]シラバス審査委員会にて、シラバス記載内容と整合性の検証を実施。 [歯科衛生科]シラバス審査委員会にて、シラバス記載内容と整合性の検証を実施。	[文学部]教務委員会において、文学部のカリキュラム方針に基づくシラバスチェックを行う。 [歯学部]週1回定例でカリキュラム委員会を開催し検討を行っている。IR推進課とも連携を図り、シラバスと歯学教育モデルコアカリキュラムとの整合性の確認や試験成績の分析を行うことを進めている。 [保育科]シラバス審査委員会にて、シラバス記載内容と整合性の検証を実施。 [歯科衛生科]シラバス審査委員会にて、シラバス記載内容と整合性の検証を実施。	<b>【期末報告】</b> [文学部]教務委員会において、文学部のカリキュラム方針に基づくシラバスチェックを行い、不都合がある場合は科目担当教員に修正を依頼した。 [歯学部]週1回定例でカリキュラム委員会を開催し検討を行った。IR推進課とも連携を図り、第三者チェックにてシラバスと歯学教育モデルコアカリキュラムとの整合性の確認を行った。 [保育科]新カリキュラムによるシラバスは作成済みであり、遠隔授業の申請により、実施する科目はオンデマンドを含めた内容をシラバスに記載し実施した。 [歯科衛生科]シラバス審査委員会にて、シラバス記載内容と整合性の検証を実施。	B	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	ポートフォリオの導入による学修成果の可視化	教務事務部	[文学部]学習支援ツール(manaba)によるポートフォリオを活用している。 [歯学部]今後検討。 [保育科]進級時に履修カルテを記入し、各教科の学修成果の可視化を行う。 [歯科衛生科]ステップアップノートを活用し、各教科の学習成果の可視化を行う。	[文学部]学習支援ツール(manaba)によるポートフォリオを活用している。 [歯学部]今後検討。 [保育科]進級時に履修カルテを記入し、各教科の学修成果の可視化を行う。 [歯科衛生科]ステップアップノートを活用し、各教科の学習成果の可視化を行う。	<b>【期末報告】</b> [文学部]学習支援ツール(manaba)によるポートフォリオの導入は既に実施しており、活用している。 [歯学部]学習計画書導入の検討を行った。 [保育科]保育科2年が2年前期までの成績を元に履修カルテを記入し、各教科の学修成果の可視化を行った。 [歯科衛生科]ステップアップノートを活用し、各教科の学習状況を把握した。	B	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	授業評価制度の見直し・具体的な活用方法	教務事務部	[文学部]学生対象の授業アンケートをmanabaで実施。教員間での授業公開を実施。 [歯学部]学生による授業評価アンケートをmanabaで実施。また、教員同士による相互評価を実施。 [保育科]前期・後期授業アンケートmanabaで実施。教員間での授業公開を実施。 [歯科衛生科][歯学部]前期・後期授業アンケートmanabaで実施。前期・後期中間アンケートmanabaで実施。	[文学部]学生対象の授業アンケートをmanabaで実施。教員間での授業公開を実施。 [歯学部]学生による授業評価アンケートをmanabaで実施。また、教員同士による相互評価を実施。 [保育科]前期・後期授業アンケートmanabaで実施。教員間での授業公開を実施。 [歯科衛生科]前期・後期授業アンケートmanabaで実施。前期・後期中間アンケートmanabaで実施。	<b>【期末報告】</b> [文学部]前期・後期の期間に授業アンケートをmanabaにより実施した。前期・後期の期間に授業公開を実施した。授業アンケートの結果を教員にフィードバックし、授業改善の検討資料に活用している。授業公開を聴講した教員は授業に関する感想・意見を提出し、また、自身の授業改善の検討資料として活用している。 [歯学部]前期授業についてmanabaによる授業評価アンケート、及び教員による相互評価を実施した。授業アンケートの結果を教員にフィードバックし、授業改善の検討資料に活用している。 [保育科]後期の授業アンケートをmanabaで実施した。後期の授業公開を実施した。授業アンケートの結果を教員にフィードバックし、授業改善の検討資料に活用している。 [歯科衛生科]前期・後期の授業アンケートをmanabaで実施した。前期・後期の授業公開を実施し、教員同士による相互評価を行った。授業アンケートの結果を教員にフィードバックし、授業改善の検討資料に活用している。	A	100%	A	歯学部と保育科は、授業アンケートの結果を教員にフィードバックしているのでしょうか。詳細についても報告してください。 ----- 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。

【I. 教育】 2.教育課程の改善(DPの質保証)

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
学位の質保証 PDCAサイクルの構築	IR機能の拡充と活動強化	総合企画課	2022年度「学生の学修・生活に関する調査」及び「卒業時アンケート」の実施。 学習成果可視化のための成績分析、入試クロス分析の実施。	・「学生の学修・生活に関する調査」項目策定、Web実施準備、4月～5月に実施、報告書作成。 ・「卒業時アンケート」項目策定、Web実施準備、3月(卒業生確定後)に実施、報告書作成。 国家試験合格状況、退学率、卒業率、就職率の整理。 入試×成績クロス分析の実施。	【期末報告】 ・2022年度「学生の学修・生活に関する調査」報告書をホームページで公開した。 ・2022年度「卒業時アンケート」を3月6日から14日まで実施し、報告書などを作成、DPの達成状況を確認した。 ・2023年度第1回全学教学マネジメント会議を経て、大学ホームページにて公開予定。 ・依頼に応じて歯学部の入学年度別GPAクロス分析、文学部入試別退学率分析、保育科の高校別成績分析資料を作成した。 ※根拠資料あり	B	100%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
学位の質保証 PDCAサイクルの構築	GPA制度による進級・卒業判定、退学勧告への活用	教務事務部	[文学部]GPAを退学勧告に活用することが教授会において承認され、2019年度より履修要項に掲載している。なお、退学勧告については、強制力があるものではなく、学生の進路変更について指導することを目的とするものである。 [歯学部]教育指導を行う目安や特待生選考の指標として活用する。 [保育科]GPA制度により、進級・卒業時にGPA1.0以下の学生への指導を実施。教務委員会にて報告する。 [歯科衛生科]GPA制度により進級・卒業判定を行い、退学勧告の措置を含めた指導を実施。	[文学部]GPAを退学勧告に活用することが教授会において承認され、2019年度より履修要項に掲載している。なお、退学勧告については、強制力があるものではなく、学生の進路変更について指導することを目的とするものである。 [歯学部]教育指導を行う目安や特待生選考の指標として活用する。 [保育科]GPA制度により、進級・卒業時にGPA1.0以下の学生への指導を実施。教務委員会にて報告する。 [歯科衛生科]GPA制度により進級・卒業判定を行い、退学勧告の措置を含めた指導を実施。	【期末報告】 [文学部]GPA制度を退学勧告に活用しており、履修要項にも記載している。 [歯学部]GPA制度により、特待生の選考を行った。 [保育科]GPA制度により進級・卒業時にGPA1.0以下の学生を保育科専任教員全員が把握し配慮すると共に、担任から指導を行った。 [歯科衛生科]GPA制度により、各セメスター終了時にGPA1.0以下の学生への学修指導を実施。対象学生を歯科衛生科専任教員全員が把握し配慮すると共に、担任から指導を行った。結果については教務委員会で報告を行った。	A	90%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
学位の質保証 PDCAサイクルの構築	FDの実質化	教務事務部	[文学部]年に2回、実践・情報報告会を開催する。 [歯学部]年2回の歯学部教職員集会の開催する。また、共用試験公的化に向けて評価者養成ワークショップ等、その他必要に応じて教育に関するワークショップを実施する。 [保育科]FD講演会を実施し、学生指導に反映させる。 [歯科衛生科]FD講演会を実施し、学生指導に反映させる。	[文学部]年に2回、実践・情報報告会を開催する。 [歯学部]年2回の歯学部教職員集会の開催する。また、共用試験公的化に向けて評価者養成ワークショップ等、その他必要に応じて教育に関するワークショップを実施する。 [保育科]FD講演会を実施し、学生指導に反映させる。 [歯科衛生科]FD講演会を実施し、学生指導に反映させる。	【期末報告】 [文学部]年に2回のFD委員会主催の実践・情報報告会を開催し、それにより得た知見を学生指導に反映させた。題目は、第1回「ポストコロナのハイブリッド学習環境」、第2回「ドキュメンテーション学科の初年次教育について」※根拠資料あり [歯学部]年2回の教職員集会和3回にわたるFD研修会を実施した。 [保育科]年1回のFD講演会を開催し、それにより得た知見を学生指導に反映させた。講演テーマは、「未来をつくる道具 わたしたちのSDGs」である。 [歯科衛生科]年1回のFD講演会(テーマは「未来をつくる道具 わたしたちのSDGs」)を実施し、学生教育に反映させた。 ※根拠資料あり	A	90%	A	各回のテーマについても報告してください。 保育科、歯科衛生科については、回数も報告してください。(次第等があれば、根拠資料のアップロードでも可。) ----- 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。

【I. 教育】 2.教育課程の改善(DPの質保証)

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
学位の質保証 PDCAサイクルの構築	就職企業・卒業生 追跡アンケートの 実施(地域や職種 の分析も)	キャリア支 援課	文:卒業生へのアンケート回収率 10% up 短:就職先・卒業生へのアンケート 回収率10% up	・アンケートをGoogleフォームで作 成、QRコード読込出来るようにする ・回答しやすいように、フォームでの 回答と紙面での回答など複数の方 法を検討	【期末報告】 短期大学部では就職先アンケート・卒業生アンケートを実 施。文学部は卒業生アンケートのみ実施。 ※根拠資料あり 文学部卒業生の回収率が14.3%で(昨年9.7%)、保育科卒業 生20.4%(昨11.1%)、保育科就職先59.8%(昨37.5%)、歯科 衛生科卒業生17.0%(昨14.0%)、歯科衛生科就職先54.5% (昨29.1%)10%アップに達していないアンケートもあるがす べてのアンケートで回収率を上げることが出来た。回答方法 をGoogleフォームと紙面の2通りを用意した結果と思われるた め、次年度も回収方法は継続して行う予定。	B	60%	C	年度目標で「回収率10%up」と ありますが、結果を報告してくだ さい。また、回収率を上げる方法に についても検討願います。 ----- 確認しました。引続き、改善・向上 に努めてください。

【I. 教育】 3.学生支援の充実

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況	評価理由、コメント等
中途退学理由の解 明と対策の実施(集 中的な退学者対 策)	個人面談・オフィス アワーの活用	学生支援 課	学生にオフィスアワーを中心とした 個人面談の機会を与え、学修面だけ でなく、学生生活全般における悩み 事を聞き取り、問題解決の糸口にな るようにする。 [歯学部]担任が定期的に学生と面 談を実施し、学年主任と情報を共有 している。 [短大部]担任制を取り、欠席2回で 担任に報告。担任が学生と連絡を取 り長期欠席を防ぐ。担任による個人 面談の実施。 [保育科]実習前後の実習担当教員 による個人面談	年度初め、学生にオフィスアワーの 時間を示す。(教務課オリエンテー ションにて) [歯学部]担任が定期的に学生と面 談を実施し、学年主任と情報を共有 している。 [短大部]担任制を取り、欠席2回で 担任に報告。担任が学生と連絡を取 り長期欠席を防ぐ。担任による個人 面談の実施。 [保育科]上記に加えて、実習前後 の実習担当教員による個人面談	【期末報告】 [文学部]成績不良者(GPA1.0以下)との面談を実施。年度初 め、学生にオフィスアワーの時間を示す。成績不良者との面 談の方法は担任の教員と学生が対面やオンラインで、内容 は学修指導である。 [歯学部]担任が定期的に学生と面談を実施し、年に数回学 年会議において学年主任・担任間で情報共有を行った。 [短大部]担任制を取り、欠席2回で担任に報告し、また学生 支援課と情報を共有した。担任が学生と連絡を取り長期欠席 を防ぐ。担任による個人面談の実施した。実習前後の実習担 当教員による個人面談を実施した。年度始めにオフィスア ワーの一覧を学生に配布した。 [歯科衛生科]担任による個人面談の実施。実習前後の実習 担当教員による個人面談を実施した。 ※根拠資料あり	A	90%	A	引き続き、改善・向上に努めてく ださい。
	入学試験方法と中 途退学者との相関 関係(歯学部は国 試合格率も)分析 と対策	学生支援 課	[IR推進課]2019年度から実施してい る施策の評価は、2024年度に行う。 その他、モニタリングを行う。 ・入試区分ごとの2021年度卒業率・ 退学率算出。 ・入試区分ごとの2021年度歯科医師 国家試験合格率の分析。 ・文学部指定校推薦者、短大保育科 の出身高校毎の在籍状況分析 なお、歯学部については、授業科目 に対応する歯学モデルコアカリキュ ラムのチェック、学生の成績分析等 を検討。 [学生支援課]IR推進課の分析結果 を基に、対策を検討する。	[IR推進課] 2022年3月～7月 2021年度卒業生、退学者、国家試 験合格者と入試区分のクロス分析。 文学部指定校推薦者、短大保育科 の出身高校毎の在籍状況分析。 [学生支援課]IR推進課の分析結果 を各学部の学生委員会に報告し、退 学者対策について検討する。	【期末報告】 [IR推進課]短大保育科の出身高校毎の分析等を2023年3月 に保育科教員(IR係)に送付した。 [学生支援課]分析結果の検討まで至らなかった。 ※根拠資料あり	B	70%	C	引続き、改善・向上に努めてくだ さい。 分析は行われているようですの で、対策についても検討を行って ください。

【I. 教育】 3.学生支援の充実

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況	評価理由、コメント等
中途退学理由の解明と対策の実施(集中的な退学者対策)	きめ細かい中退ケアの方策の策定	学生支援課	中退学生の抑制及び早期発見 [保育科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。担任による個人面談の実施。実習前後の実習担当教員による個人面談実施。 [歯科衛生科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。	[文学部]GPA1.0以下の学生の修学指導 [歯学部]システムを用いた出欠管理。担任による定期的な面談。 [保育科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。担任による個人面談の実施。実習前後の実習担当教員による個人面談。 [歯科衛生科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。	【期末報告】 [文学部]文学部将来計画委員会にて検討中。成績不良者(GPA1.0以下)との面談を実施。「学籍異動調査票」に記録し学科内で情報共有した。ドキュメンテーション学科では初年次教育を導入した。 [歯学部]授業を欠席した学生に対してはWeb欠席届を提出させ、当該授業の録画を視聴した後、口頭試問を受けることを義務付け、授業の補完とした。また定期的に担任との面談を実施した。 [保育科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告した。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防いだ。担任による個人面談を実施した。実習前後の実習担当教員による個人面談を実施した。 [歯科衛生科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防いだ。	B	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	これまでなされてきた中退対策の成果検証と改善方策	学生支援課	・T-PECの周知及び活用(文学部・短期大学部) ・各学部毎、教員と学生の面談を強化 (中長期番号3-1-5は3-1-3と一緒に実施)	T-PECの認知度を上げるため、ポスター掲示やオリエンテーション等で、学生への周知を図る。	【期末報告】 T-PECの認知度を上げるため、年末にもチラシの掲示を行い、周知した。窓口での学生面談については、教員、他の関係部署とも連携し、対応できた。※根拠資料あり	C	10%	C	年間の利用数や把握できる範囲での内容等、実績も報告してください。更なる利用促進に繋がるよう、周知方法の検討も継続してください。 ----- 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。
学生一人ひとりが安心できる精神的拠り所の整備(教職連携支援体制の構築)	学生支援に関する包括的なポリシーの策定と専門スタッフの配置・育成	学生支援課	既存の学生支援に関する方針(学生支援ポリシー)を基に、学生に的確な対応ができるようにする。 [保育科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。担任による個人面談の実施。実習前後の実習担当教員による個人面談。 [歯科衛生科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。	研修会等、積極的に参加し、情報を収集する。 [保育科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。担任による個人面談の実施。実習前後の実習担当教員による個人面談。 [歯科衛生科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。	【期末報告】 [文学部]成績不良者(GPA1.0以下)との面談を実施した。 [歯学部]担任が定期的に学生と面談を実施し、学年主任と情報を共有した。 [保育科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防ぐ。担任による個人面談の実施。実習前後の実習担当教員による個人面談。 [歯科衛生科]担任制を取り、欠席2回で担任に報告。担任が学生と連絡を取り長期欠席を防いでいる。 [学生支援課]各種研修会に積極的に参加し、他大学の事例等を参考にしながら、研修内容を課内で共有した。 [キャリア支援課]キャリアコンサルタント(国家資格)を有したスタッフを配置し個人面談を実施。必要に応じて課内で情報を共有。対応困難な学生に対しては専門の資格を有するスタッフがその知見を活かしつつ就職支援を行った。	B	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。



【I. 教育】 3.学生支援の充実

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況	評価理由、コメント等
意欲ある学生の成長を促す奨学金制度の整備	努力を続ける学生に対する奨学金制度の拡充	学生支援課	總持寺奨学生、同窓会奨学生の継続 歯学部特待奨学生制度の拡充	規程や細則に則り、学生への周知及び公正な奨学生選考を行う。	【期末報告】 3月に当該年度の年度GPAを基に、歯学部特待生の選考を実施した。 新2年生 17名、新3年生 10名、新4年生 10名、新5年生 10名、新6年生 10名 合計57名 ※根拠資料あり	S	100%	S	引続き、改善・向上に努めてください。
	学内ワークスタディの拡充等	キャリア支援課	[キャリア支援課]大学業務の補助を通して学生の成長と経済的支援を行う。	[キャリア支援課]図書館、地域連携推進課、キャリア支援課等での業務補助に学生を採用	【期末報告】 [キャリア支援課]大学業務の補助を通して、学生の成長と経済的支援を行った。	A	90%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
学生に関する各種記録のデータベース化による情報共有・支援円滑化	学生面談記録のデータベース化(教員・学生支援課)	学生支援課	各担当部署で学生と面談した際は、部署間及び当該学科の主任・科長、学生委員の教員と情報共有を図る。 [保育科]学生や保護者等との面談の度に記録を取り、都度、教員と情報共有している。データベース化は検討中。	各担当部署で学生と面談した際は、部署間及び当該学科の主任・科長、学生委員の教員と情報共有を図り、多方面から学生を見守っていく。 [保育科]学生や保護者等との面談の度に記録を取り、都度、教員と情報共有している。データベース化検討中。	【期末報告】 [学生支援課]学生や保護者等との面談の度に記録を取り、都度、当該学科教員及び当該学部の教務課と情報共有を行った。また、学生の状況によっては保健センターとも連携をして、対応した。データベース化はできていないが、求められれば面談記録等は示せるようにしている。 [文学部]学生や保護者等との面談の度に記録を取り、都度、関係部署と情報共有を行った。 [歯学部]担任が定期的に学生と面談を行い、CampusSquareへの入力をしている。また、学年主任と担任の学年会議を期毎に行い、情報共有をはかっている。また、学年会議の報告を学生委員会で行っている。 [保育科]学生や保護者等との面談の度に記録を取り、都度、教員と情報共有を行った。個人情報であるため、記録の保護には気を付けている。電子データによるデータベース化はできていないが、紙媒体で面談記録は保管しているため、いつでも閲覧可能である。 [歯科衛生科]学生や保護者等との面談した際は記録を取り、都度、科内・関係部署と情報共有を行った。	A	80%	B	保育科は、年度計画にある「データベース化検討中」についても記入してください。 文学部、歯学部、歯科衛生科は報告をお願いします。 ----- 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。
	進路指導記録のデータベース化(教員・キャリア支援課)	キャリア支援課	[保育科]キャリア支援課で把握した就職状況を教員も把握し、実習巡回で卒業生の様子や採用状況を把握する。高校訪問に活かす。 [キャリア]個々の学生の面談記録等をシステムに入力し共有	[保育科]キャリア支援課で把握した就職状況を教員も把握し、実習巡回で卒業生の様子や採用状況を把握する。高校訪問に活かす。 [キャリア]個々の学生の面談記録等をシステムに入力し共有	【期末報告】 [キャリア]システム上に記録を残し、共有すべき問題は課内で共有。教員へは必要に応じて個別に共有・連絡を行った。 [保育科]キャリア支援課で把握した就職状況を教員も把握し、実習巡回や高校訪問で卒業生の様子や採用状況を把握した。	A	100%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
	実習巡回記録のデータベース化(短大教員)	短大部教務課	[保育科]実習巡回記録は紙媒体での保管している。実習先一覧等は教務課でデータ化管理しており、実習巡回での問題点等は教務課の実習先一覧データに集約している。 [歯科衛生科]実習巡回記録をデータベース化し、情報を共有する。	[保育科]実習巡回記録は紙媒体での保管している。実習先一覧等は教務課でデータ化管理しており、実習巡回での問題点等は教務課の実習先一覧データに集約している。 [歯科衛生科]実習巡回記録をデータベース化する。	【期末報告】 [保育科]実習巡回記録は紙媒体で保管している。実習先一覧等は教務課でデータ化管理しており、実習巡回での問題点等は教務課の実習先一覧データに集約している。 [歯科衛生科]実習巡回記録をデータベース化し、情報を共有した。	B	60%	B	引続き、改善・向上に努めてください。 保育科の実習巡回記録についても、データベース化を進めてください。

【Ⅰ. 教育】 3.学生支援の充実

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況	評価理由、コメント等
課外活動の振興を目指した環境整備・予算配分	課外活動の発表・表彰制度の導入	学生支援課	文科系団体は主に大学祭において各々の活動についての発表を行う。体育系団代については、常に活動報告書を提出してもらう。いずれも、大学報で、活動内容や試合結果・成績等を掲載する。文学部・短期大学部同窓会、歯学部同窓会奨学生制度を周知する。	長期休暇期間を除き、原則月に1回、代表者を集めた団体会議を開き、ルールブックに則った課外活動の運営を進める。同窓会奨学生の選考を円滑に行う。	【期末報告】 ・文化系団体は大学祭において各々の活動についての発表を行った。併せて大学報で年に2回、活動内容を掲載した。 ・体育系団体については、常に活動報告書を提出してもらい、大学報で年に2回、試合結果や成績等を掲載した。 ・文学部・短期大学部同窓会(後期)、課外活動で顕著な成績を残した学生や活躍した学生に対して、奨学金を給付した。 歯学部同窓会奨学生については該当者がおらず、辞退となった。 ・コロナ禍における課外活動を安全に行えるよう、ガイドラインを作成し、各団体に周知し、適切な活動を行った。 ※根拠資料あり	A	90%	A	≪文学部・短期大学部同窓会(後期)、歯学部同窓会より、課外活動で顕著な成績を残した学生や活躍した学生に対して、奨学金を給付した。≫とあるが、具体的な内容や実績も報告してください。 ----- 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。
愛校心・帰属意識を高める工夫	大学行事(イベント)や広報への学生の積極的な参画	学生支援課	オープンキャンパスやキャンパス見学会を対面型で実施する。学生の参画も各学科の意向を確認しながらすすめていく。大学祭を対面で実施する。	オープンキャンパスは学科別で原則2部制とし、さらに参加者の上限を拡充(50名→70名)とする。そのすべての開催に学生を参加させる予定。感染対策をはかりながら、大学祭を対面で実施する。	【期末報告】 [学生支援課]紫雲祭は3年ぶりに対面での開催ができた。参道での模擬店は中止としたが、トークショーや発表・展示等の団体は参加ができ、外部団体の参加など新たな取組もできた。参加した学生は300名程で、来場者数は2日間で延べ1,500名程であった。 [入試センター]オープンキャンパス→5月、6月、7月、8月、9月、保育科ミニオープンキャンパス→4月、5月、9月に学生は参画し学科紹介や個別相談、キャンパスツアーの配役を担った。 ※根拠資料あり	S	100%	B	各イベントへの参加率(学生数に応じたもの)を数値で報告してください。 ----- 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。

【Ⅱ. 研究】 1.学部の枠を超えた学際的研究環境の構築

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況	評価理由、コメント等
研究意欲の喚起・推進	研究・教育業績と連動した研究費の配分の見直し(助教以上研究費申請なしで研究費減額)	教育研究支援課	専任教員以上の研究費等外部資金申請状況の把握	過去5年間に遡って研究費等外部資金申請状況をデータ化する。大学、短大ごと、各学部ごと、随時データ化を行う。	【期末報告】 研究者職位別に研究費申請状況のデータ化を行った。 ※根拠資料あり	B	80%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	教員の年次研究計画の作成と審査の実質化	教育研究支援課	2022年度教員の研究計画を提出していただく。2021年度教員の研究計画報告をしていただく。	各教員、講座へ提出依頼を実施。期日を設けて提出をしていただく。	【期末報告】 全学部・全学科から提出済み。学長による確認済み。提出状況を追加※根拠資料あり	A	80%	A	提出率も報告してください。数値を確認後、委員会評価を入力します。 ----- 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。
	URAの配置など、研究費申請の推進指導、サポート体制の強化	教育研究支援課	研究費申請の推進指導、サポート体制強化	研究費の各種目ごとの公募通知を実施する。研究費学内説明会を開催する。	【期末報告】 研究費の各費目について公募を実施した。(2022.7.1、2022.8.3、2023.3.2)外部資金獲得支援のための動画講座公開(2022.7.13) 研究費の申請数の減少はあったが、採択率の上昇がみられた。今後は申請数の増加を目指したい。 ※結果実績の根拠資料あり	A	90%	A	実施したことにより結果どうなったのか、実績を報告してください。 ----- 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。
	附置研究所の活動方針明確化、サポート体制強化	教育研究支援課	附置研究所の活動方針明確化、サポート体制強化	各附置研究所ごとに詳細な事業計画を立て、実行していく。	【期末報告】 附置研究所である仏教文化研究所、国際交流センター、公共医科学研究センター、それぞれに事業計画を立て、実行していった。また、各附置研究所において令和5年度の事業計画を立てた。※根拠資料あり	B	60%	B	令和4年度の内容に対して、実績報告をお願いします。 ----- 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。

【Ⅱ. 研究】 1.学部の枠を超えた学際的研究環境の構築

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況	評価理由、コメント等
研究業績の学内外共有とマッチング機能による共同研究推進	教員の研究業績のデータベース化（機関リポジトリの導入）	教育研究支援課	教員の研究業績のデータベース化	研究業績プロ(システム)についての活用継続と推進 研究業績プロ(システム)に入力を行ってもらうよう各研究者に通知を行う。	【期末報告】 新たに入職した研究者に向けてメール等で通知を行った。研究業績プロ未入力の専任教員とともに継続して定期的に入力を促していく。 ※根拠資料あり	B	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	企業や海外大学との共同研究	教育研究支援課	企業との共同研究の推進	企業との共同研究の推進	【期末報告】 令和4年度の企業との共同研究については継続して適切に実施した。 ※根拠資料あり	A	80%	A	引続き、改善・向上に努めてください。

【Ⅲ. 医療】 1.社会変化に伴う医療ニーズの多様化・高度化を見据えた改革によって、地域の健康寿命の延伸に貢献する

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
患者動線に配慮した歯科診療機能の配置等による利便性向上と診療効率化	患者動線に配慮した歯科診療機能の配置等による利便性向上	病院事務部	新型コロナウイルス感染防止対策を取りつつ、現状とリノベーション計画を反映させたいうで、改修を進めていく。	・2階中央検査室を1階生理検査室内に移設、採尿用トイレを設置。患者の利便性と配置数が少ない臨床検査技師を効率的に業務遂行させる目的。 ・3階総合歯科1、2、口腔保健科、消毒器材室の配置の見直し。PCC-OSCE対応ルームの設置。歯科衛生士の業務効率化と教育環境の充実。 ・1階インプラント科を4階補綴科診療室内へ移設。インプラント科として使用していた診療室に3階障害者歯科を移設し、現在フロア制にしている小児歯科の歯科衛生士との連携を図る。	【期末報告】 今後の診療体系の再構築に向けて検討を行う「診療体制検討委員会」を2023年1月に発足。診療科の統合、需要度の高い専門治療を行う診療科の設置、およびスタッフの人員配置等について検討。 2022年12月末に検査技師の退職による減員に伴い、作業の効率化を図るために1階生理検査室を2階中央検査室へ移設した。（年度計画のとおりに行くと費用が発生するため移設場所を変更し少額の費用で移設）	C	40%	C	引続き、改善・向上に努めてください。
	医療スタッフ動線や設備数・配置等の最適化による診療効率化	病院事務部	昨年度実施した診療科以外のフロア制を検討する。	歯科衛生士のフロア制導入	【期末報告】 昨年度フロア制を実施した①保存科と補綴科、②小児歯科と障害者歯科については継続して実行した。また、施行中だった③総合歯科1と総合歯科2に新たに高齢者歯科を加えたフロア制を実行した。 その他、④初診科とインプラント科、⑤矯正科と口腔外科を開始し、全てのフロア制を実施した。	A	100%	A	引続き、改善・向上に努めてください。

【Ⅲ. 医療】 1.社会変化に伴う医療ニーズの多様化・高度化を見据えた改革によって、地域の健康寿命の延伸に貢献する

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
病院内に地域連携室を設置し、地元の医療機関や歯科医師会と連携した地域医療ネットワークを構築	横浜市の中核病院である済生会横浜市東部病院や歯科医師会と連携し、周術期の口腔ケア機能を拡充	病院事務部	引き続き、地域医療連携室において歯科医師会・医師会等の関連医療機関への広報活動の実施。	・HPの活用。 ・済生会横浜市東部病院の周術期患者の受け入れ枠を増やす。	【期末報告】 手術前・手術後の口腔管理(口腔内のクリーニング)についてのチラシにより、周術期口腔管理の受診者数は増加した。特に手術後の受診者数は昨年度より約2倍増。 ※根拠資料あり	A	70%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
	障がいを抱える患者様を対象とした、日帰りの全身麻酔下歯科治療の実施体制を強化	病院事務部	引き続き、横浜市と連携し患者の受け入れを行う。	歯科麻酔科での予約患者数を増やす。(1日/週、5日/月)	【期末報告】 目標としている1日/週、5日/月の達成には至らなかったが、新型コロナウイルス感染症による診療制限も緩和し、患者受け入れ数は昨年度より約2倍に増加した。 ※根拠資料あり	A	70%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。
	超高齢社会における歯科総合病院の特徴を活かした質の高い訪問歯科診療体制を構築	病院事務部	地域医療連携室を中心とし、高齢者歯科・口腔内科との連携による受入れ体制の確立。	・訪問診療マニュアルの作成。 ・定例会議を月1回開催し、情報共有を行う。	【期末報告】 地域連携室は周術期口腔管理の業務が中心となり、高齢者歯科と口腔内科が各々行っていた訪問診療を統括することができなかった。 地域医療連携室の担当職員が育児休暇中のため引き続き産休補助職員が業務を担当。昨年度と同様の状態のままとなった。	C	20%	C	引き続き、改善・向上に努めてください。

【Ⅳ. 社会貢献】 1.地域(住民・行政)と總持寺、本学の連携

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
街づくり・地域活性化のためのコミュニティ形成と運営	地域(住民・行政)並びに總持寺と連携した事業やイベントの実施	総務課	・輪島市民セミナー開催 ・輪島市観光物産展開催 ・「ちむどんどん」横浜鶴見プロジェクト参加 ・鶴見大学杯 少年野球大会開催 ・禅と海 里づくり交流促進プロジェクト「延年の章」参加	・總持寺祖院のある輪島市と包括連携協定を結んでいることに基づいて、輪島市民セミナー・輪島市観光物産展を開催し、輪島市に鶴見大学を、また鶴見に輪島市をPRする。 ・2022年4月にNHK連続テレビ小説「ちむどんどん」が放映されることをきっかけに、鶴見区の官民学が集まり、「ちむどんどん」横浜鶴見プロジェクトを発足した。本プロジェクトには大本山總持寺も協力しており、本学も参加協力をする。 ・鶴見大学杯少年野球大会を鶴見区少年野球連盟と共催、横浜市鶴見区及び神奈川新聞社後援にて開催予定。 ・禅と海 里づくり交流促進プロジェクト「延年の章」として昨年度、新型コロナウイルスにより中止になった企画を行う。本学も参加協力する。	【期末報告】 ・輪島市民セミナーは3月8日に歯学部・文学部・保育科のセミナーをオンデマンド開催で行い、参加者数は延べ41名だった。 ・輪島市観光物産展は10月15日に紫雲祭内ブースで開催した。 ・「ちむどんどん」横浜鶴見プロジェクトに参加協力し、学生ライター企画を始めとする様々な企画を完遂した。 ・鶴見大学杯少年野球大会を開催し、12月7日に無事終了した。 ・禅と海 里づくり・交流促進プロジェクト会議が1月に開催され、プロジェクト事業計画が策定された。令和6年の瑩山禪師700回大遠忌も見据え、交流の促進と禅文化の魅力発信を図っていくことが確認された。 ※根拠資料あり	S	90%	A	引き続き、改善・向上に努めてください。

【IV. 社会貢献】 2.地域ニーズと学内資源(文学・健康医療・子育て支援・施設)のマッチング強化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
本学の強みを生かした地域社会の子育て支援事業の拡充	地域の子育て支援の拠点形成	総合企画課	事業所内保育所や病児保育所、貧困児童の学習支援等について、鶴見大学としてどのように取り組んでいくかを短大部保育科や三松幼稚園と議論を行う。	□ 年度内に議論を開始する。	【期末報告】 議論するには至らなかった。	C	0%	C	引続き、改善・向上に努めてください。
文学部・歯学部・短大部の知を活かした生涯学習の再構築	地域ニーズのリーサーチと本学の特徴を活かした生涯学習の在り方を検討	総務課	・令和4年度つるみ連携カレッジ ・生涯学習センター開設25周年企画2講座実施	・講座内容、実施方法、広報内容を企画 ・5月地域連携推進委員会にて実施案提出 ・ポスター等作成・発送・周知等広報活動 ・10～2月期間中に講座実施	【期末報告】 ・令和4年度つるみ連携カレッジ「健康で豊かな人生を過ごすために一歯とお口の健康について考えてみませんか？」オンデマンドで予定どおり開催。受講者数は6名。 ・生涯学習センター開設25周年企画2講座は未実施 ※根拠資料あり	B	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
歯学部及び附属病院を活かした地域社会の健康福祉の増進	歯科医師会や地元歯科医師と連携した地域医療ネットワーク構築	病院事務部	歯科医師会、地元歯科医院との連携体制の構築	・協議会の実施 ・広報誌の発行 ・各種セミナーの実施	【期末報告】 新型コロナウイルス感染症は収束へは向かっているものの、本計画は未実施のままとなった。	C	0%	C	引続き、改善・向上に努めてください。
	訪問歯科診療等、社会ニーズを踏まえた地域医療の提供	病院事務部	歯科医師会、地元歯科医院との連携による、受け入れ体制の確立	・広報誌の発行 ・訪問診療マニュアルの作成 ・患者、地域住民へ向けてのセミナーの開催	【期末報告】 ・病院HPに掲載後は、開業医から地域医療連携室への問い合わせが毎月約15件程度。 ・インプラント治療説明会によりインプラント科を受診希望の新患者数が増加傾向となるが、その他のセミナーの開催や広報誌の発行は未実施となった。 ※根拠資料あり	A	60%	B	引続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 1.組織運営の高度化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
学園(大学)のあるべき姿・将来像の明確化	学園(大学)の将来像を設計(マスタープラン)	総合企画課	財政面に関しては「総持学園長期財政計画(令和4年度～令和13年度)」が策定された。また、在学生に向けては大学・短期大学のキャッチフレーズの募集を行うことが検討されている。これらの内容を踏まえて、今後のあるべき姿を模索していく。	「総持学園長期財政計画(令和4年度～令和13年度)」や、募集予定のキャッチフレーズの内容を確認しながら方向性を探っていく。	【期末報告】 ・各計画の進捗や世の中の変化、本学を取り巻く環境等を踏まえ、必要な見直しを行い、『「総持学園Vision2024」改訂版(2023～)』を策定した。 ※根拠資料あり	B	30%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	将来像を実現するための中長期計画(100周年含)の策定	総合企画課	・中期計画マネジメントシステムの運用を本格化する。(定期的な進捗管理) ・年度事業計画との関連性の周知徹底に努める。	・年間の必要な時期に応じて、年度目標計画、中間報告、年度実績の入力を依頼する。(2月、9月、翌4月) ・入力状況を管理し、それを元に理事會報告資料を作成する。(3月、5月、11月開催分) ・全学自己点検委員会の開催。	【期末報告】 ・2021年度実績を受け、全学自己点検評価委員会にて評価を行った。結果は委員会で周知し、大学HPIにも公表している。 ・適切な時期に大学運営協議会やグループウェアを通して、入力依頼を行っている。 ※根拠資料あり	B	40%	B	引続き、改善・向上に努めてください。(進捗割合は20%→40%に変更しています。)
効率的な組織づくりによるガバナンスの質向上	外部評価委員会などの多様なステークホルダーから意見を聴取する仕組みの構築	総合企画課	全学自己点検委員会へ外部評価員を招致する。	外部評価委員を招致する。	【期末報告】 昨今の外部評価という観点からは「外部委員」が全学自己点検評価委員会の構成員であることは相応しくないため、「全学自己点検評価委員会規程」の条文内容を変更し、別途「全学自己点検評価委員会における外部委員に関する規程」を策定し、11月開催の全学自己点検評価委員会にて承認された。次年度からの外部評価開始に向けて、委員については検討中である。 ※根拠資料あり	B	60%	B	引続き、改善・向上に努めてください。(進捗割合は40%→60%に変更しています。)
	定期的なUD開催による将来像と中長期計画の全学的な議論・共有・浸透	総合企画課	令和3年度はUD研修会の開催に至らなかったため、令和2年度UD研修会のテーマとなった、①「Vision2024に基づく課題と中期計画について」②「総持学園の財政状況について」③「キャンパス再整備プロジェクトの進捗状況について」のその後の情報共有が学内で行われていない。令和4年度はUD研修会を開催し、学内の現状と課題について共有する。	UD研修会を企画、開催する。	【期末報告】 研修会テーマの絞り込みを行った。次年度の開催に向けて、時期は令和5年5～6月頃を目標に外部講師への講演依頼も検討していくこととした。	B	10%	C	引続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 1.組織運営の高度化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
学内情報共有の円滑化	大学運営協議会の設置・運用などによる他学部・他部署の教職員間の情報交換	総合企画課	2019年度に設置した大学運営協議会は、毎月1回の安定的な開催ができています。今後も引き続き、定期開催に努め、教職員間の情報共有の場とする。	月1回の安定的開催と、協議会のスムーズな進行に努める。	【期末報告】 月一度の安定的開催ができた。コロナ禍においては、「学部長報告」を毎回行うことで各学部の現状を共有した。各部署からの「報告事項」で学内の情報共有・周知に努めた。	A	80%	A	引続き、改善・向上に努めてください。(進捗割合は60%→80%に変更しています。)
	業務支援・教育支援のためのインフラ(各種システム)の運用強化・利便性向上	情報システム課	・Webチャットボットの管理・運用を開始する。 ・学務システム・LMSのカスタマイズを実装する。 ・無線APを増設する。	・Webチャットボットの管理・運用を開始する。 ・学務システム・LMSのカスタマイズ:5月初旬より、関係部署にヒアリングし、カスタマイズ内容を確認・確定し、年度末までに実装する。 ・無線APの増設:5月初旬より、関係部署にヒアリングし、AP設置を確認・確定し、年度末までに設置する。	【期末報告】 ・Webチャットボットの運用を6月に開始した。 ・学務システム CampusSquareでの修学支援新制度、ポータル検索、学校司書、司書講習等のカスタマイズを2023年3月に実装した。 ・大学会館の研修室、病院棟3階総合歯科1に無線APを増設した。 ・Microsoft 365のメールを10月に先進認証に変更し、教職員のデバイスへの対応を実施した。 ・Microsoft 365の接続ツールであるAzure Active Directory Connectを11月に更改した。 ・グループウェア「GroupSession ZION」から「GroupSession byCloudへ」に10月に更改した。	A	80%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
広報活動・情報発信の戦略的な取り組み	広報部の設置による学内外の情報発信一元化	総務課	広報事業の全学的一元化に向けた取り組み	・広報委員会の改組等による全学的な広報事業の把握 ・広報事業の所管性の明確化に向けた取り組み ・各部署間での広報活動の連携	【期末報告】 全学的な広報一元化に向けては計画・実施には至っていないが、各部署間等で広報活動のための情報共有は行っている。	B	50%	B	引続き、改善・向上に努めてください。(進捗割合は30%→50%に変更しています。)
	HPで学内外に向けた積極的教員紹介	教育研究支援課	研究者による研究業績プロ(システム)への入力	研究業績プロ(システム)に入力を行ってもらうよう各研究者に通知、周知を行う。	【期末報告】 新たに入職した研究者に向けてメール等で通知を行った。研究業績プロ未入力の専任教員へも継続して定期的に入力を促していく。 ※根拠資料あり	B	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	動画で教育研究の様子を公開(大学の魅力の見える化)	教育研究支援課	研究面からの情報の公開を実施していく。	・大学ホームページ上に研究業績プロを通して教員情報を公開する。 ・大学ホームページ上に科研費採択者一覧を公開し、随時更新する。 ・大学ホームページ上に受託・共同研究等の研究情報を公開する。	【期末報告】 科研費の採択者一覧を大学ホームページ上に公開した。内定があり次第、随時更新を行った。受託・共同研究等の研究情報を大学ホームページ上に公開している。※根拠資料あり ・動画公開については、実施の有無を含め検討中である。	B	80%	B	年度目標、年度計画が達成されたことは確認できるが、中期計画の「動画公開」についても報告してください。 ----- 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 1.組織運営の高度化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
広報活動・情報発信の戦略的な取り組み	各HP(大学・学部・病院)の一体的なリニューアルと逐次更新による情報発信力強化	総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>動画及びSNSを活用した情報発信</li> <li>教職員のメディア等の出演情報に関する発信</li> <li>教職員の社会貢献情報に関する発信</li> <li>受験生応援サイトでの情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生の確保等を目的とした動画の制作、及び複数のSNSを導入して発信する。</li> <li>学部、附属病院等に所属する教職員の活躍を取り上げたメディア(テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等)の情報の収集、及び申告システムを整備して、一元的に発信する。</li> <li>教職員における政府、地方自治体、公益法人等における参加状況(委員、役員等)及び協定等の状況を把握し、一元的に発信する。</li> <li>受験生応援サイトで入試制度及び本学の魅力を発信する</li> </ul>	<b>【期末報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>受験生応援サイトについて、オープンキャンパスや入試情報等、受験生に対して随時発信した。</li> <li>公式Twitterは14、公式Instagramは10の部署・団体別のアカウントを開設しそれぞれ情報発信をした。</li> <li>教職員のメディア情報については、随時ホームページ等に掲載した。</li> <li>教職員における政府、地方自治体、公益法人等における参加状況については、随時ホームページ等に掲載した。</li> </ul>	B	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	SNSを活用したリアルタイム情報発信強化	総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNSを活用したリアルタイム情報発信の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総務課発信の情報(例:メディア出演情報、マスコットグッズ新作、広報誌発行…など)の発信頻度を増やしたり、定期化させる。</li> <li>CampusNOWの取材様子などをSNSで告知する。</li> <li>LINE、インスタグラムを活用し募集についての情報を発信する</li> </ul>	<b>【期末報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>チャットボットの一部運用を開始。また、LINEアカウントは全面的に運用した。</li> <li>Twitterは14、Instagramは10の公式アカウントを開設し、それぞれ最新情報を発信した。</li> <li>CampusNOWの取材に関するSNSでの発信については未だ検討中だが、発行のお知らせをTwitterとInstagramの両方で発信を始めた。</li> </ul>	B	50%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	マスコットキャラクターの活用促進	総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>学内外のイベント等への参加による知名度向上</li> <li>マスコットキャラクターをデザインに取り入れたオリジナルグッズをより多くの人に手に取って利用してもらう</li> <li>委託販売の継続(紀伊国屋書店)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリジナルグッズの新規作成</li> <li>グッズ周知のために学内外へのSNS等を利用した情報発信</li> <li>学生からオリジナルグッズのアイデアを募集する</li> </ul>	<b>【期末報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の影響により、感染対策の掲示物や遠隔授業で使用する教材等の作成が増え、その掲示物等にイラスト使用頻度が増加した。</li> <li>オープンキャンパスや高校訪問でのグッズの配布や学内売店での販売を継続した。</li> <li>大学案内パンフレットの撮影、学校紹介動画の出演、紫雲祭の参加、その他外部でのイベントへ参加した。</li> <li>来年度オープンキャンパスにて配布するオリジナルグッズ2種類の作成に取り掛かった。</li> </ul>	B	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
教員組織の質向上	教員の評価・処遇の公平性確保	人事課	学部間での処遇について検討	学部ごとの処遇格差について実態を把握する	<b>【期末報告】</b> 文学部、歯学部、短期大学部と職員も含め、給与として支給される手当についてを一覧化し全体を見える化した。学部間で異なっている教員の勤務日について特定するための資料作成を行った。 ※根拠資料あり	B	60%	B	引続き、改善・向上に努めてください。



【V. 大学運営】 1.組織運営の高度化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
教員組織の質向上	職位に相応しい採用要件(資格・業績等)の明文化	人事課	採用手順における要件の確認	各学部の教員選考規程の検証	【期末報告】 教員の確保に関しては、設置基準に反することなく進められてきている。その教員採用に関しては必要な規程に則って行われており、学長面接を経て人事課へ提出された最終資料を基に、理事長原議決裁の手続きは問題なく実施されてきている。	A	70%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
	文学部教員組織のST比の改善(学科間の不均衡是正)	人事課	現状と問題点について確認する	継続的なST比の改善を目指す	【期末報告】 ドキュメンテーション学科教員の補充が終了し、現時点では次なる改善に向けての準備を行う。	B	60%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	大学として求める教員像・要件の明確化	人事課	総持学園 Vison 2024 に謳われている、本学の教育理念と現状を比較確認する。	大学として求める教員像・要件を整理し、確定していく。	【期末報告】 次年度に向け、各学科へのアプローチ手段を模索中である。	C	20%	C	引続き、改善・向上に努めてください。
	教員組織の編制方針の策定・運用(業績・年齢・男女比等の不均衡是正)	人事課	現状と問題点について確認する	第三者評価時の資料を参考に、基礎資料を作成し改めて現状を把握する	【期末報告】 第三者評価の基礎資料として作成したフォーマットを改良し、本学の各学科における年齢・男女比等の基礎資料を作成した。 ※根拠資料あり	B	60%	B	引続き、改善・向上に努めてください。今後は、グラフ化していくこともご検討ください。
職員組織の質向上	大学として求める職員像(資質・能力)の明確化	人事課	大学が求める職員像の案を固めていく	各階層に求められる職員像について提案していく。	【期末報告】 原案として作成中であるが、理想と実態の乖離が見られ現時点では提案できるレベルとは言えない。	C	40%	C	引続き、改善・向上に努めてください。
	職員の人材育成方針の策定・運用	人事課	現有人材の潜在的な能力を引き出すための環境作り	階層別研修等を通して、職員同士の部署を超えた横のつながりを認識できるように、部署間協力体制に関して繋がりを意識してもらう。	【期末報告】 当初の予定どおり7階層に分けた階層別研修を、6月と10月に開催した。本学を会場として行った5階層については、対面でのグループワークにこだわって研修を実施した。 ※根拠資料あり	A	70%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
	職員の評価・処遇の公平性確保(脱年功制)	人事課	目標マネジメントを改めて再開する	昨年度空白期間となった目標マネジメントを再開し、各職員の自己評価と上席者の評価実施を徹底させる。	【期末報告】 2023年度から組織改編となるが、2022年度の目標マネジメントの評価については目標設定の面談から関わっている22年度の管理監督者が行うこととした。23年5月末に報告書の提出期限を定めた。 ※根拠資料あり	B	60%	B	引続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 1.組織運営の高度化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
職員組織の質向上	組織再編と各部門における職務分掌の見直し・明確化	総務課	組織再編と各部門における職務分掌の見直し・明確化	組織再編により、部署の統合等を行ない機能的な組織を構築していく。	【期末報告】 2023年度の組織再編において部署統合等を行なうことにより、職務分掌等の見直しを行った。	A	80%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
	勤怠・出張・交通費等管理の効率化	人事課	大学事務局、附属病院、三松幼稚園に属する職員について、システムによる勤怠管理を実施する。	2021年度までは事務職員を対象として運用していたが、それ以外の職員に対して範囲を広げていく。 4月に完全移行し、発生が予測されるトラブルについて万全の態勢で臨む。	【期末報告】 勤怠管理システムについては当初目標とした時期から2か月遅れたが、当初予定されていた実施にたどり着いた。また、建物によっては当初計画どおりの位置に打刻機を移設することができた。 年末調整のシステムを大きな混乱もなく導入でき、業務の効率化を図ることができた。 旅費精算システムの具体的な導入日程(2023年6月)を明示し、大学運営協議会、各学部教授会等で説明を実施した。	A	80%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
	採用要件(資格・能力等)の明文化と公募による優秀な人材確保	人事課	採用に当たっては財務状況の改善を優先し年度目標は立てないが、採用開始となった場合に対応できることを目標とする。	採用に関する公平性を担保するため、現在運用している採用に関する手順・方法について、改めて明文化し、規程制定を進めていく。	【期末報告】 これまで事務職員の採用時に実施してきた手順・方法を明文化した「鶴見大学事務職員採用に関する規程」を定めたことにより、今後の採用業務の根拠とし、採用における公平性を担保していく。 2023年度に向けた事務職員の採用計画は無かったが、今後の具体的な募集が生じた際に活用できるものとなった。 ※根拠資料あり	A	80%	A	引続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 2.経営基盤の強化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
収支バランスの回復に向けた財政運営	将来像に合わせた中長期財政計画の策定	経理課	学園の財政再建計画に基づく中長期財政計画の策定 財政基盤の安定を目標に経常収支差額のマイナスを減少させるため、歯学部、短大部、附属中学、幼稚園の定員充足率を高め、学納金収入の増加を目指す。 また、支出抑制のため、物件費等の諸経費の節減を図り、限りのある財源を効果的に活用する。	学園の財政再建計画で決定される具体的施策を盛り込んだ中長期財政計画案の策定。 4~7月 歯文短の入試対策を踏まえた複数のシミュレーション検討による計画の絞り込み。 7月 関係部署との意見聴取を図りシミュレーション結果を報告。 10~11月 学内理事連絡会、協議会を経て理事会で報告。	【期末報告】 「中長期財政計画について(案)」「中長期財政計画シミュレーション(案)」を11月理事会にて報告した。 ※根拠資料あり	B	50%	B	引続き、改善・向上に努めてください。※期末報告内容要確認。(進捗割合は30%→50%に変更しています。)
	費用対効果を意識した事業の精査・効率化	経理課	経常収支バランスの回復に向けた財政運営 中長期計画に基づく令和5年度予算の策定	・令和4年度予算の適切な執行管理と固定費の更なる精査 ・令和5年度予算への学園の財政再建計画の盛り込み	【期末報告】 令和5年度予算については、事務関係の支出を対前年度予算額に対し3%以上削減に努める一方、学生定員確保に向けた予算配分と教育に関わる予算は極力減額せずに教育の質の保証、並びに教育の活性化を図る予算とした。 附属病院への院内物流管理システム(SPD)業務については導入を含め検討継続中である。 ※根拠資料あり ・令和5年度予算編成方針(理事会資料) ・令和4年度事業計画(経理課)	B	30%	B	令和4年度の内容についても報告してください。 その上で、自己評価と進捗割合の再考をお願いします。 ----- 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 2.経営基盤の強化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
収支バランスの回復に向けた財政運営	学内資源を有効利用するための既存業務見直し	総務課	学内資源を有効利用するための既存業務見直し	・業務配分の負担軽減 ・業務における適性化	【期末報告】 一部の既存業務を各部署と共通意識を持ち、連携を取りながら業務を行っている。	C	0%	C	—
	周辺業務の非専任化やアウトソーシングの推進、事業法人化	事業推進課	[総務課]業務の効率化や人件費の抑制を図るため、各部署の周辺業務を把握し、非専任化やアウトソーシングを推進する。	[総務課] ・担当部署と連携し、推進に向けて取り組みを考察する。 ・直接雇用の削減を目指し、各部署にてアウトソーシングできる業務を特定し、費用対効果を図りつつ進めていく。	【期末報告】 [総務課]実施には至っていない。	C	0%	C	引続き、改善・向上に努めてください。
	ホール、運動場、会議室、空き教室等大学保有施設の外部有効利用	管財課	授業等に支障をきたすことがないように、地域貢献の一環として外部が利用できるように調整する。	申込に対し、可能な限り対応できるように学内を調整し、申し込み団体と新型コロナウイルス感染対策を含んだ協議の上、利用できるようにする。	【期末報告】 ・2022年度の貸出件数 記念館(ホール・講堂)12件 1号館9件 2号館1件 4号館1件 5号館1件 6号館1件 体育館7件 荒立グラウンド67件 師岡グラウンド14件	A	70%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
	病院(医療)収入の増加と支出の抑制	病院事務部	・昨年度に引き続き、業務委託契約内容の見直しを図り、委託費を削減する。 ・T-DECを活用し、外注技工費を削減する。 ・周術期口腔管理の患者数を増やし、増収に繋げる。 ・消耗品の消費・在庫管理を一括管理し、死蔵・過剰在庫の解消およびコスト削減を図る。	・業務委託業者とのヒアリング ・SPDの導入に向けての構築	【期末報告】 ・SPD(院内物品管理)については、契約業者が決定し次年度の本格稼働に向けて準備中。 ・周術期口腔管理については、地域医療連携室で作成したチラシや病院HPにより認知度が広まり、受診者数・医療収入共に約1.4倍増加した。 ・T-DECについては、歯科技工士の減員に伴い、外注技工件数が増加。内注件数との比率も昨年度と逆転してしまった。 ※根拠資料あり	A	70%	B	引続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 3.同窓会との連携強化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
同窓会と連携した学生支援や大学運営	R4(新)同窓会と在学生のコミュニケーション強化	学生支援課	在学生に同窓会準会員であることを認識してもらい、同窓会を身近に感じてもらう。	同窓会奨学生の円滑な選考 紫雲祭パンフレットへの挨拶文の掲載 [文短同窓会]紫雲祭への参画。卒業生からの役員選出を円滑に行う。	【期末報告】 [キャリア]歯学部同窓会経由での歯科衛生士求人(同窓生運営の医院)をわかりやすいように提供。※根拠資料あり [学生支援課]両同窓会からの紫雲祭への援助及びパンフレットへの挨拶文掲載。文・短同窓会は紫雲祭への参加もしていただいた。また例年、文・短同窓会事務局から依頼がある幹事の推薦について、卒業年次生で主に文・短同窓会奨学生に選考された学生を中心に声掛けをし、文・短各学科1名ずつの幹事を推薦できた。	A	70%	B	「文短同窓会幹事の推薦を、滞りなくできた。」とありますが、説明も記載してください。 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 3.同窓会との連携強化

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
同窓会と協働で行うイベント・学生募集	ホームカミングデーの開催	総務課	ホームカミングデーの開催	同窓会と関係部署と連携しながら計画及び実施をしていく。	【期末報告】 歯学部同窓会では歯学部創立50周年に合わせ、11月19日にホームカミングデーを実施した。文学部・短大部同窓会については令和2年～4年までコロナウィルス感染対策の為、実施はしていない。(なお、令和5年10月29日には実施予定)	C	30%	C	文短同窓会についても報告してください。 (進捗割合は50%→30%に変更しています。) ----- 確認しました。引続き、改善・向上に努めてください。
	同窓生割引等の優遇措置(現在は歯学部のみ実施)	入試センター事務局	昨年度入試から導入した学納金の変更、奨学制度のリニューアルを広く周知していきたい。また、歯学部同窓会推薦入試の受験者増、同窓会長推薦の入学金減免制度の利用者増を狙いたい。 今年度実施の入試より短大部同窓会推薦を設置した。	昨年度入試の対象者から学納金の変更、奨学制度のリニューアルが行われた。全国の歯学部を志望する受験生にその制度が周知できるようWEB広告、チラシなどで周知を図りたい。歯学部同窓会推薦については同窓会事務局とも連携していく。今年度実施の短大部同窓会推薦について、出願までの流れを同窓会事務局と細部まで確認をする。	【期末報告】 歯学部同窓会地方支部長推薦(入学金半額減免)1期での出願があり、それぞれ優遇措置を受けた。2023年度入試より短大部において同窓会推薦を導入したが学納金や検定料等の優遇措置はない。	C	20%	C	引続き、改善・向上に努めてください。 (進捗割合は50%→20%に変更しています。)

【V. 大学運営】 4.機能的で心地よい学修空間づくり

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
地域や街の文化と融合したキャンパス景観づくり	仏教の魅力を伝える教育機能・文化施設の整備	管財課	キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき優先順位の高い修繕・改修等の計画を策定し、取り組みが可能な計画は順次実施し、計画の中にコンセプトを反映していく。	キャンパス全体(中学・高校、幼稚園等を含む)の必要性のある修繕・改修等の計画を策定する。	【期末報告】 キャンパス全体(中学・高校、幼稚園等を含む)の修繕・改修等の計画にコンセプトを反映可能な部分は反映し、引き続き策定していく。	C	10%	C	引続き、改善・向上に努めてください。
	学生の憩いの場(カフェ・ラウンジ・広場)がある居心地の良いキャンパス作り	管財課	キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき優先順位の高い修繕・改修等の計画を策定し、取り組みが可能な計画は順次実施し、計画の中にコンセプトを反映していく。	キャンパス全体(中学・高校、幼稚園等を含む)の必要性のある修繕・改修等の計画を策定する。	【期末報告】 南門広場に整備した教科書販売所を販売期間以外は学生休憩室として開放した。また、附属病院地下1階に学生の休憩・食事ができるスペースとして自販機コーナーを設置した。キャンパス全体(中学・高校、幼稚園等を含む)の必要性のある修繕・改修等の計画については引き続き策定していく。	B	60%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
	誰もが安心して過ごせるバリアフリー化やセキュリティ強化	管財課	キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき優先順位の高い修繕・改修等の計画を策定し、取り組みが可能な計画は順次実施し、計画の中にバリアフリー化やセキュリティ強化が図れるように反映していく。	キャンパス全体(中学・高校、幼稚園等を含む)の必要性のある修繕・改修等の計画を策定する。	【期末報告】 ・病院臨床講堂・学生控室に防犯カメラの設置が完了。また、セキュリティ強化のため3号館1階自習室4部屋と5階第8講堂にも防犯カメラを設置した。	B	40%	B	引続き、改善・向上に努めてください。 (進捗割合は20%→40%に変更しています。)

【V. 大学運営】 4.機能的で心地よい学修空間づくり

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
地域や街の文化と融合したキャンパス景観づくり	機器・設備の統一化・標準化による維持・管理の効率化	管財課	授業等に支障がないように経年劣化による老朽化、不具合が多発している機器設備等の更新を行い、維持・管理に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1号館PC・AV機器更新</li> <li>・2号館基礎実習室技工用モーター更新</li> <li>・記念館ホール照明装置・操作卓更新</li> <li>・幼稚園受変電設備新設工事</li> <li>・附属病院診療室電灯盤取替</li> </ul> <b>【整備計画状況により】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・附属病院診療室等統合整備</li> <li>・附属病院医療系配水排水管更新</li> <li>・附属病院第3講室内装改修</li> </ul>	<b>【期末報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画・予定していた工事は概ね完了した。</li> <li>・附属病院の整備については、今年度予定分の電灯盤取替工事は完了したが、残り箇所については引き続き来年度も実施する予定。また、第3講室内装改修工事は完了。</li> <li>・診療室等統合整備や排水管更新は引き続き来年度以降も調査・検討していく。</li> </ul>	B	40%	B	引続き、改善・向上に努めてください。
図書館等での効果的な学修空間づくり	アクティブラーニングを促すフレキシブルな学習環境整備	管財課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき優先順位の高い修繕・改修等の計画を策定し、取り組みが可能な計画は順次実施し、アクティブラーニングを促すフレキシブルな学習環境となるよう計画していく。</li> <li>・他者との意見交換を前提とした、アクティブラーニングの効果的な運用を目標とし、環境整備を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンパス全体(中学・高校、幼稚園等を含む)の必要性のある修繕・改修等の計画を策定する。</li> <li>・意見交換にあたり事前学習が重要となる事から、ラーニング commons に隣接した形で参考書を配備するなど、学修環境を整備する。</li> </ul>	<b>【期末報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度私立学校施設設備補助金を利用して、3号館の3つの講堂を拡大改修し、情報処理演習室2として整備し、アクティブラーニングにもフレキシブルに対応できる歯学部授業支援システム装置及び什器を設置した。</li> <li>・ラーニング commons 2を国家試験対策の学習スペースと位置づけ、参考書など国家試験関連の図書を十進分類法に拠らず別置扱いとして集約させ、学習効率向上の取り組みを実施した。</li> </ul>	B	40%	B	引続き、改善・向上に努めてください。(進捗割合は20%→40%に変更しています。)
	図書館などの利便性向上による利用率拡大	図書館事務室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験対策コーナーの学修環境・機能強化</li> <li>・家庭環境など、自宅での遠隔授業受講に支障のある学生に対する教育環境整備の実施。</li> <li>・紙媒体の雑誌から「電子書籍閲覧サービス」への転換による、学生のニーズに対するフレキシブルな対応の実現。</li> <li>・利便性向上のための館内サイン工事の実施・図書館バリアフリー化の観点から点字を取り入れたサインを導入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラーニング commons の用途拡大により、遠隔授業を図書館で受講可能とする。</li> <li>・娯楽雑誌を中心に約500誌を学生のスマートフォンから閲覧可能とし、若者の多岐に亘る興味・関心に応え、来館動機付けを図る。</li> <li>・2021年度に終了した改修工事に合わせ、館内のサイン工事を実施することにより利便性向上を図る。</li> </ul>	<b>【期末報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ラーニング commons 3における国家試験学習に特化した環境整備およびラーニング commons 4における遠隔授業への対応を実施した。</li> <li>スマートフォンによる娯楽雑誌閲覧を可能として来館動機付けの一助とし、点字にも対応した館内サイン工事の完成によって、図書館バリアフリーを実現した。</li> </ul>	A	70%	A	引続き、改善・向上に努めてください。

【V. 大学運営】 4.機能的で心地よい学修空間づくり

中期目標	中期計画	部局名	年度目標	年度計画	年度実績	年度計画進捗状況自己評価	中期計画全体の進捗割合	年度計画進捗状況評価委員	評価理由、コメント等
図書館等での効果的な学修空間づくり	グループ学習エリアなどの勉強しやすい空間の拡充	管財課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンパスを取り巻く様々な状況を鑑み、取り組むべき優先順位の高い修繕・改修等の計画を策定し、取り組みが可能な計画は順次実施し、グループ学習エリア等の勉強しやすい空間を拡充できるような計画を検討していく。</li> <li>・図書館2階ラーニングcommons2の運用面での見直しを図り、国家試験合格率向上を目標とした学修空間を構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンパス全体(中学・高校、幼稚園等を含む)の必要性のある修繕・改修等の計画を策定する。</li> <li>・図書館各所に分散して配架されている、歯科医師・歯科衛生士国家試験対策の参考書等を、十進分類法に捉われる事無く、ラーニングcommons横に集中的に配架することで、効率的な学修環境を提供する。</li> </ul>	<p>【期末報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験合格率向上に向けて環境改善のため、6年生の使用する病院第3講堂の内装改修を行い教室を整備した。</li> <li>・国家試験関係の参考書等を集中配架することにより、学習効率の向上を実現した。</li> </ul>	B	40%	B	引続き、改善・向上に努めてください。(進捗割合は20%→40%に変更しています。)
環境及び防災に配慮した機能の整備	横浜市・總持寺と連携した防災機能の強化	管財課	<p>横浜市との「大規模地震等の災害時における避難施設の提携協力に関する協定」(平成25年度締結)及び「災害時における施設等の提供協力に関する協定」(平成26年度締結)に基づき、帰宅困難者の一時滞在施設となっている。</p> <p>横浜市より帰宅困難者用(500人分)の備蓄品の受け入れを行っているため、腐食等のないよう適切に備蓄する。また、本学独自の災害対策備蓄用品・非常食等については、1号館・2号館・体育館に整備しており、同様に腐食等のないよう適切に備蓄し、非常食が賞味期限切れとならないように廃棄及び新規分の購入を行う。また、2021年度より実施したフードバンク神奈川への寄付は継続してしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災備蓄品の在庫調査</li> <li>・非常食の賞味期限時期の管理</li> <li>・非常食の廃棄及び新規購入</li> <li>・非常食のフードバンク神奈川への寄付</li> </ul>	<p>【期末報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学独自の備蓄品の在庫、非常食の賞味期限時期を調査し、賞味期限を迎える備蓄品を学生や近隣住民に配布したりし、その補填分を新たに購入し備蓄した。</li> </ul>	A	30%	A	引続き、改善・向上に努めてください。
	省エネ化と太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用推進	管財課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各所設備機器の更新に合わせ、高効率型への更新、蛍光灯のLED化を実施する。</li> <li>・記念館空調設備を更新する。(3年次計画1年目)</li> <li>・大学会館サブホール照明のLED化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各所設備機器の更新に合わせ、高効率型危機への更新、蛍光灯LED化を実施する。</li> <li>・記念館空調設備を更新する。(3年次計画1年目)</li> <li>・大学会館サブホール照明のLED化。</li> </ul>	<p>【期末報告】</p> <p>○照明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・附属病院診療室(小児歯科・インプラント科)、2号館研究室(病理学)、大学会館サブホールをLEDへと更新をした。</li> <li>・1号館・記念館前の外灯をLEDへと更新。</li> </ul> <p>○空調</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2号館研究室(保存修復、口腔内科、小児歯科、歯内療法、歯周病)及び解剖実習室、病院食堂(サクセス)を高効率型へ更新を行った。</li> <li>・記念館空調設備更新に向けて、設計事務所と空調機現況調査・改修計画策定業務契約を締結。</li> </ul> <p>○「令和4年度ヨコハマ温暖化対策賞」受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市地球温暖化対策計画制度において、温室効果ガス排出量の削減など優良な取り組みを行った事業者を表彰する制度として学校法人 総持学園が受賞しました。</li> </ul>	B	40%	B	引続き、改善・向上に努めてください。